

平成 30 年 6 月 11 日現在

機関番号：17102

研究種目：挑戦的萌芽研究

研究期間：2015～2017

課題番号：15K15170

研究課題名(和文)優れた臨床指導医の形成プロセス解明に関する探索的研究

研究課題名(英文) Exploratory study to investigate the formation process of effective clinical teachers

研究代表者

菊川 誠 (Kikukawa, Makoto)

九州大学・医学研究院・講師

研究者番号：60378205

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,800,000円

研究成果の概要(和文)：臨床指導医及び初期研修医がどのような経過をたどり”指導医”としてされて成長していくのかを明らかにする質的研究を実施した。研修医は模倣欲求が生じる際に、対象者(指導医)への「憧れ」を基盤としてモデリングが生じていた。指導医からは、研修医時代に指導をうけた指導医が、その後指導する際のロールモデルとして機能していた。また指導を受けた経験に加えて、その後指導医としての経験を元に再構築されていた。両者からはモデリング現象が指導医としての形成過程に重要な役割を果たしていることを示していた。

研究成果の概要(英文)：We conducted a qualitative study to explore what kind of course the clinical supervisors and the initial training doctors trace as "supervisors". Modeling was occurring based on longing for the supervising doctor as a trainee. From the supervising doctor, the supervisors who were instructed in the age of residents was functioning as a role model for guidance afterwards. In addition to being taught experienced, he was later reconstructed based on experience as a supervisor. It was suggested from both results that the modeling phenomenon plays an important role in the formation process as a supervisor.

研究分野：医学教育

キーワード：臨床指導医 モデリング 研修医

1. 研究開始当初の背景

欧米では、臨床医学教育において臨床指導医の重要性が早くから認識され、1世紀を超えて優れた指導医の特徴について深く研究されている(Sutkin et al. Acad Med, 2008)。その研究結果を元に指導医評価表等が開発され、且つその信頼性まで検証されたものが、現場で広く活用され、指導医の教育力改善に貢献している(Glick, 2002)。優れた臨床指導医は、学習者の学びを促進し、結果学習者による患者ケアの向上が期待される(Buchel et al. Fam Med, 2005)。しかしながら、日本を含めたアジアでは優れた臨床指導医の特徴に関する研究報告が無く、申請者が初めて質的手法を用いて明らかにした(Kikukawa et al. BMC Med, 2013)。さらに、申請者は、全国12研修病院の初期研修医416名を対象として優れた臨床指導医の特徴についてアンケート調査した。その結果、欧米から報告のある優れた臨床指導医の特徴と日本とに違いがあることを明らかにした。(第42回日本医学教育学会 International Session, Award for Academic Excellence 受賞)このことは同時に欧米で開発された評価表を日本語訳しただけでは、その妥当性が保たれないことを実証的に示したことを意味する。更に研究結果を元に Delphi 法を用いて日本のセッティングにおける妥当性の高い臨床指導医評価表を開発した(Kikukawa et al. BMC Med, 2014)。この成果も日本を含めたアジア初の知見である。

このように、申請者の臨床指導医研究を含め世界中で優れた臨床指導医の特徴については研究が進んでいるが、“優れた”臨床指導医がどのように形成されるのかについてはまだ世界的にも不明な点が多い。

2. 研究の目的

臨床指導医及び初期研修医がどのような経過をたどり“指導医”として成長していくのかを明らかにすること。これにより効果的な日本の臨床指導医養成システムに大きく貢献できると考えた。

3. 研究の方法 質的方法、主にインタビュー調査を実施した。下記2つの調査解析方法は Thematic analysis の手法を用いた。インタビューを録音し、個人情報に消去し逐語録にした。逐語録を研究代表者が読み、意味を抽出し、カテゴリーに分類した。

- (1) 文書にて同意承諾の得られた初期研修医6名に対し、自身が手本となる指導医とその影響について、インタビューを実施した。年齢：平均28歳(26-33歳) ロータート経験科数：平均5科(3-10科) 研修期間：平均14か月(11-24か月) 性別：男性5名 女性1名 インタビュー時間は平均30分であった。

- (2) 文書にて同意承諾の得られた臨床指導医6名を対象に、指導医観がどのように形成されてきたか、指導医としての行動の原点はどこからきているかについてインタビュー調査を行った。平均臨床経験25年(21年-29年) 男性5名、女性1名、インタビュー時間は平均40分であった。

4. 研究成果

(1) 研修医インタビュー

以下の4つの因子【憧れ】【具現化された目標としての模倣欲求】【模倣内容】【成功体験】が抽出された。

【憧れ】は、現時点では、研修医にはできないことを、指導医ができていているという事実によって心が強く惹かれている状態である。

また【憧れ】は、直接模倣欲求に繋がっていた。それは、目標という目指すものが目の前に具体的に存在するという事実から、到達可能な目標という意味を含めながら、真似をしたいという心理的欲求になっていた。

【模倣内容】とは真似をしたいと認識した内容である。指導医の行動、思考、姿勢、存在、他者との関係性など多岐に及んでいた。

【成功体験】は、実際に模倣した結果、臨床現場で成功体験に繋がった場合、模倣欲求が強化、継続されていた。

今回の知見では、模倣欲求が生じる際に、対象者(指導医)への「憧れ」が存在していた。この憧れはあくまで観察者自身の認知行動である。観察者のそれまでの認知がベースになっており、その認知を通して観察された対象者がどう受け止められた結果、模倣欲求に繋がったのはこれからの研究課題である。

(2) 指導医インタビュー

現在の指導医としての価値観は、これまで指導を受けた経験に加えて、その後指導医としての経験を元に再構築されていた。また、研修医時代に指導をうけた指導医は、その後指導する際のロールモデルとして機能していた。モデリング構想は相反する主として2つの側面があり、ポジティブな側面(積極的に模倣をしたいと思う場合)と、ネガティブな側面(模倣をしたくないと思う場合)があった。前者は、指導への真剣さ、自己効力感、いつでも相談に乗ってもらえるという保証に大きく関連し、後者は、自分や他職種への叱責と関連していた。指導医になって初期の段階では、ロールモデルとしている指導医の模倣を意識した指導をする傾向があるが、指導経験を積むにつれて、自分の価値や考えで指導を試みたいという意識も生じていた。指導経

験により指導医としての自己概念の変化も生じていた。今後、さらにインタビューを重ねて指導医観の形成を明らかにしていく必要がある。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

Kikukawa M, Stalmeijer RE, Okubo T, Taketomi K, Emura S, Miyata Y, Yoshida M, Schuwirth L, Scherpbier AJ: Development of culture-sensitive clinical teacher evaluation sheet in the Japanese context. *Medical teacher* 2017, 39(8):844-850.

臨床研修医は現場の医師から何を学び人生の糧としているのか? いのちを守るための医療者養成の観点からロールモデル像とその影響の解明(原著論文)
菊川 誠(九州大学 大学院医学研究院医学教育学講座), 臺野 巧, 山口 征啓
いのちとくらし研究所報 (1881-3194)56号 Page58-61(2016.09)

[雑誌論文](計 1 件)

菊川 誠:特集 指導医の背中 研修医はあなたのココをみています、指導医 ESSENCE、監修: 斎藤 宣彦 2016.Vol.2.P2-5、羊土社

[学会発表](計 23 件)

2017

第 49 回日本医学教育学会 シンポジスト: 医学教育論文発表への道 研究計画から学会誌投稿まで 医学教育研究を進めるための5つの秘訣 私の執筆体験から 菊川 誠 2017.8.18

研修医のモチベーションはどのように上がるのか(会議録)

徳増 一樹, 小比賀 美香子, 尾原 晴雄, 菊川 誠, 大塚 文男

日本病院総合診療医学会雑誌 (2185-8136)13巻1号 Page82(2017.07)

学習者の学びとなるフィードバックを伝えるためのフィードバック用紙の活用(会議録)

伊東 こずえ, 菊川 誠, 新納 宏昭
医学教育 (0386-9644)48巻 Suppl. Page87(2017.08)

教育講演講師 第 8 回 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 in 高松、教育講演「あなたもできる! 日頃の疑問を質的研究で解決!」で「質的研究の方法: リサーチクエスションとデータ採集」菊川 誠 2017.5.13

Makoto Kikukawa, Renee E. Stalmneijer, Takahiro Matsuguchi, Miyako Oike, Lambert Schuwirth, Albert J.J.A. Scherpier

Free communication: Understanding

the Response Process of Residents Evaluating Clinical Teachers -influences of instrument and national culture-, 15th APMEC, NUS, 12/1/2018, Singapore. Merit Award 受賞

アウトカム評価としての診療録ピアレビューシステムの基準連関妥当性の検討(会議録) 亀岡 淳一(東北大学大学院医学系研究科附属医学教育推進センター), 大久保 智哉, 菊川 誠, 岩崎 淳也, 佐藤 佐織, 石井 誠一, 加賀谷 豊医学教育 (0386-9644)47巻 Suppl. Page208(2016.07)

日本版臨床指導医評価表の開発(会議録) 菊川 誠, Stalmeijer Renee E., 大久保 智哉, 武富 貴久子, 江村 正, 宮田 靖志, 吉田 素文, J.J.A.SCHERPBIER ALBERT Source: 医学教育 (0386-9644)47巻 Suppl. Page207(2016.07)

Modified Delphi 法による若手指導医の医学教育コンピテンシーの合意形成(会議録) 橋本 忠幸(橋本市民病院 総合内科), 菊川 誠 Source: 医学教育 (0386-9644)47巻 Suppl. Page164(2016.07)

教育講演講師: 菊川 誠 「私の医学教育研究歴」 熊本大学医学部附属病院 地域医療支援センター/救急・総合診療部主催

Makoto Kikukawa, Renee E. Stalmeijer, Tomoya Okubo, Kikuko Taketomi, Sei Emura, Yasushi Miyata, Motofumi Yoshida, Lambert Schuwirth, Albert J.J.A. Scherpier, Poster Presentation:

DEVELOPMENT OF CULTURAL SENSITIVE CLINICAL TEACHER EVALUATION SHEET IN JAPAN, AN EAST ASIAN SETTING, 14th APMEC, NUS, 13/1/2017, Singapore. Best Abstract for Poster Presentation Award (Runner Up) 受賞 Makoto Kikukawa

日米医学医療交流セミナー Let's go Ryugaku! 座長 菊川 誠 2016.10.8

基調講演 講師「アウトカム基盤型教育とは」西九州大学健康栄養学部 FD 菊川 誠 2016.9.5

第 6 回地域医療教育研究会 教育講演座長 菊川 誠 2016.4.2

貝沼茂三郎, 菊川 誠, 永田雅治, 吉田素文 地域医療を担うリーダーに求められるコンピテンシー(能力)に関する探索的研究 2106.6.12 日本プライマリケア連合学会 特別賞受賞

Internal Structure of Japanese Clinical Teachers Evaluation Sheet (JaCTES), Oral

Presentation, MAKOTO KIKUKAWA,
RENEE E. STALMEIJER, TOMOYA
OKUBO, KIKUKO TAKETOMI, SEI
EMURA, YASUSHI MIYATA,
MOTOFUMI YOSHIDA, LAMBERT
SCHUWIRTH, ALBERT J.J.A.
SCHERPBIER, AMEE, Barcelona,
Spain, 2016,

What should residents learn to teach?
A modified Delphi survey to define
competencies of resident-as-teacher,
Tadayuki Hashimoto, Makoto
Kikukawa, Poster presentation,
AMEE, Barcelona, Spain, 2016,

Exploring competencies needed for
leaders of community-based medicine
in Japan: a qualitative study.
Mosaburo Kainuma, Makoto
Kikukawa, Masaharu Nagata,
Motofumi Yoshida. Oral Presentation,
AMEE, Barcelona, Spain, 2016,

How clinical experience influences
residents' personal growth? A
qualitative study. KAZUKI
TOKUMASU, HARUOBARA、
MAKOTO KIKUKAWA, Poster
Presentation, AMEE, Barcelona,
Spain, 2016,

2015

菊川誠、松口崇央先生、橋本忠幸、加藤
浩晃：ワークショップ「コンセンサスを
科学する～Delphiアプローチ入門～」第
6回日本プライマリ・ケア連合学会学術
大会、筑波国際会議場、2015.6.13

②① 健和会大手町病院セデーションコース
の教育効果 山口 征啓(健和会大手町病
院 総合診療科), 金澤 剛, 菊川 誠
医学教育(0386-9644)46 巻 Suppl.
Page215(2015.07)

②② 東アジア地域初のプログレステストの
試み 松山 泰(自治医科大学医学教育セ
ンター), 菊川 誠, 村上 礼子, Muijtjens
Arno, Stalmeijer Renee, 石川 鎮清, 岡
崎 仁昭, 医学教育(0386-9644)46 巻
Suppl. Page189(2015.07)

②③ 模擬患者のフィードバック技能研修に
使用する個別記入カードの改訂(第2報)
伊東 こずえ(九州大学医療系統合教育研
究センター), 菊川 誠, 島添 隆雄, 吉田
素文 医学教育(0386-9644)46 巻 Suppl.
Page109(2015.07)

〔図書〕(計 0 件)

〔産業財産権〕

○出願状況(計 0 件)

名称:

発明者:
権利者:
種類:
番号:
出願年月日:
国内外の別:

○取得状況(計 0 件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
取得年月日:
国内外の別:

〔その他〕

ホームページ等

<https://www.edu.med.kyushu-u.ac.jp/>

6. 研究組織

(1)研究代表者

菊川誠 (KIKUKAWA Makoto)

九州大学大学院医学研究院医学教育学講
座、講師 研究者番号：60378205

(2)研究分担者 なし

(3)連携研究者

江村正 (EMURA Sei)

佐賀大学医学部附属病院卒後臨床研修セ
ンター 准教授

研究者番号： 90274589

武富貴久子 (TAKETOMI Kikuko)

北海道大学大学院医学研究科 学術研究
員 研究者番号：80543412